

b) 2 × 2 表での分析 [意欲的+肯定的]

	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)](%)
卒後1~2年	87	41	68.0
卒後3~5年	85	81	51.2
卒後6~15年	209	231	47.5
卒後16年以上	134	173	43.6
無回答	41	50	45.1
全体	556	576	49.1

	(意欲的+肯定的)	消極的
卒後1~2年	87	41
卒後3~5年	85	81

(両側検定)  $P = 0.00422$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	(意欲的+肯定的)	消極的
卒後1~2年	87	41
卒後6~15年	209	231

(両側検定)  $P = 0.00005$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	(意欲的+肯定的)	消極的
卒後1~2年	87	41
卒後16年以上	134	173

(両側検定)  $P = 0.00001$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

卒後1~2年の医師は、へき地勤務に「意欲的+肯定的」なものが多く、卒後3~5年、卒後6~15年、卒後16年以上の群との間に有意な差が認められた。

上記以外に有意差は認められなかった。

(5) 卒前のへき地医療教育の経験の有無別 [%]

《へき地医療の卒前教育》	1. 解決 しなくとも 赴任したい (意欲的)	2. 積極 的に赴任 したいと 思う	3. 上記 以外の課 題が解決 したら、 良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あま り赴任し たくない	5. 絶対 に赴任し たくない	4+5. (消極的)	6. わ から ない	無回 答
経験あり(461名)	7.2	10.8	33.2	51.2	30.8	10.6	41.4	6.5	0.9
経験なし(650名)	2.9	7.5	30.9	41.4	36.3	12.9	49.2	7.8	1.5
わからない(117名)	4.3	6.0	29.1	39.3	44.4	8.5	53.0	6.8	0.9
無回答(12名)	8.3	8.3	25.0	41.7	16.7	8.3	25.0	0.0	33.3
全体(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く)

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	(意欲的) / [(意欲的)+(それ以外)](%)
経験あり(427名)	33	394	7.7
経験なし(589名)	19	570	3.2
わからない(108名)	5	103	4.6
無回答(8名)	1	7	12.5
全体(1132名)	58	1074	5.1

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
経験あり(427名)	33	394
経験なし(589名)	19	570

$$\chi^2 = 10.33$$

(両側検定) P = 0.00147 有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

へき地医療の卒前教育を受けた医師は、受けていない医師にくらべて、「困難な事柄が解決しなくてもへき地に赴任したい」とするへき地勤務に意欲的なものが有意に多かった。

b) 2×2表での分析[意欲的+肯定的]

	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)](%)
経験あり(427名)	236	191	55.3
経験なし(589名)	269	320	45.7
わからない(108名)	46	62	42.6
無回答(8名)	5	3	62.5
全体(1132名)	556	576	49.1

	(意欲的+肯定的)	消極的
経験あり(427名)	236	191
経験なし(589名)	269	320

$$\chi^2 = 9.123$$

(両側検定) P = 0.00281 有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

へき地医療の卒前教育の経験を持つ医師の方が、経験を持たない医師にくらべて「意欲的+肯定的」な医師の割合が有意に高かった。

(5') 交絡因子としてのE大学 卒前のへき地医療教育の経験の有無別 [%]

卒前教育	出身大学	1. 解決 しなくとも 赴任し たい (意欲的)	2. 積極 的に赴任 したいと 思う	3. 上記 以外の課 題が解決 したら、 良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あま り赴任し たくない	5. 絶対 に赴任し たくない	4+5. (消極的)	6. わ から ない	無回 答
経験あり	E大学(99名)	13.1	16.2	30.3	59.6	23.2	5.1	28.3	11.1	1.0
	他大(349名)	5.4	9.7	34.1	49.3	33.5	11.7	45.3	4.9	0.6
	不明(13名)	7.7	0.0	30.8	38.5	15.4	23.1	38.5	15.4	7.7
	計(461名)	7.2	10.8	33.2	51.2	30.8	10.6	41.4	6.5	0.9
経験なし	E大学(5名)	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	他大(618名)	2.9	7.9	30.9	41.7	36.2	12.9	49.2	7.8	1.3
	不明(27名)	0.0	0.0	33.3	33.3	37.0	14.8	51.9	7.4	7.4
	計(650名)	2.9	7.5	30.9	41.4	36.3	12.9	49.2	7.8	1.5
不明	E大学(2名)	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	他大(107名)	4.7	5.6	29.0	39.3	43.9	8.4	52.3	7.5	0.9
	不明(8名)	0.0	0.0	25.0	25.0	62.5	12.5	75.0	0.0	0.0
	計(117名)	4.3	6.0	29.1	39.3	44.4	8.5	53.0	6.8	0.9
無回答	他大(107名)	0.0	14.3	42.9	57.1	28.6	14.3	42.9	0.0	0.0
	不明(8名)	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	計(117名)	8.3	8.3	25.0	41.7	16.7	8.3	25.0	0.0	33.3
総計	(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く)

卒前教育	出身大学	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	(意欲的) / [(意欲的)+(それ以外)](%)
経験あり	E大学卒業生(99名)	13	74	17.6
	他大学卒業生(349名)	19	311	6.1
	不明(13名)	1	9	11.1
	計(461名)	33	394	8.4
経験なし	E大学卒業生(5名)	1	3	33.3
	他大学卒業生(618名)	18	544	3.3
	不明(27名)	0	23	0.0
	計(650名)	19	570	3.3

他大学卒業生	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
経験あり(349名)	19	311
経験なし(618名)	18	544

$\chi^2 = 3.413$   
 (両側検定)  $P = 0.08111$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

E大学卒業生	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
経験あり(99名)	13	74
経験なし(5名)	1	3

$\chi^2 = 0.297$   
 (両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

卒前教育の経験あり	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
E大卒業生(99名)	13	74
他大卒業生(349名)	19	311

$\chi^2 = 8.198$   
(両側検定)  $P = 0.00688$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

卒前教育の経験なし	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
E大卒業生(5名)	1	3
他大卒業生(618名)	18	544

$\chi^2 = 5.817$   
(両側検定)  $P = 0.12799$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

E大学、それ以外の大学ともに、同一群内では、へき地勤務経験の有無で差は認められなかった。  
卒前におけるへき地・地域医療教育の経験を持つ医師においては、E大学と他大学との間に有意な差が認められた。

b) 2×2表での分析[意欲的+肯定的]

卒前教育	出身大学	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)](%)
経験あり	E大学卒業生(99名)	59	28	67.8
	他大学卒業生(349名)	172	158	52.1
	不明(13名)	5	5	50.0
	計(461名)	236	191	55.3
経験なし	E大学卒業生(5名)	2	2	50.0
	他大学卒業生(618名)	258	304	45.9
	不明(27名)	9	14	39.1
	計(650名)	269	320	45.7

他大学卒業生	(意欲的+肯定的)	消極的
経験あり(349名)	172	158
経験なし(618名)	258	304

$\chi^2 = 3.215$   
(両側検定)  $P = 0.08270$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

E大学卒業生	(意欲的+肯定的)	消極的
経験あり(99名)	59	28
経験なし(5名)	2	2

$\chi^2 = 0.549$   
(両側検定)  $P = 0.59602$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

卒前教育の経験あり	(意欲的+肯定的)	消極的
E大卒業生(99名)	59	28
他大卒業生(349名)	172	158

$\chi^2 = 6.864$   
(両側検定)  $P = 0.01069$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

卒前教育の経験なし	(意欲的+肯定的)	消極的
E大卒業生(5名)	2	2
他大卒業生(618名)	258	304

$\chi^2 = 0.027$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

E大学、それ以外の大学ともに、同一群内では、へき地勤務経験の有無で差は認められなかった。  
卒前におけるへき地・地域医療教育の経験を持つ医師においては、E大学と他大学との間に有意な差が認められた。

(6)へき地勤務の経験別 [%]

《へき地勤務経験》	1. 解決しなくとも赴任したい (意欲的)	2. 積極的に赴任したいと思う	3. 上記以外の課題が解決したら、良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あまり赴任したくない	5. 絶対に赴任したくない	4+5. (消極的)	6. わからない	無回答
経験あり(548名)	5.7	8.6	33.4	47.6	32.7	10.4	43.1	8.8	0.5
経験なし(677名)	3.8	8.9	30.1	42.8	37.2	12.7	49.9	6.1	1.2
無回答(15名)	6.7	0.0	26.7	33.3	6.7	6.7	13.3	0.0	53.3
全体(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

へき地勤務の経験を持つ医師の方が、1. (意欲的)な医師の割合および(意欲的+肯定的)な医師の割合ともに高い傾向が認められた。

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く)

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	(意欲的) / [(意欲的)+(それ以外)](%)
経験あり(497名)	31	466	6.2
経験なし(628名)	26	602	4.1
無回答(15名)	1	6	14.3
全体(1240名)	58	1074	5.1

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
経験あり(497名)	31	466
経験なし(628名)	26	602

$\chi^2 = 2.537$   
(両側検定)  $P = 0.13190$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

意欲的に限定した分析では、へき地勤務の有無による差は認められなかった。

b) 2×2表での分析[意欲的+肯定的]

	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)](%)
経験あり(497名)	261	236	52.5
経験なし(628名)	290	338	46.2
無回答(15名)	5	2	71.4
全体(1240名)	556	576	49.1

	(意欲的+肯定的)	消極的
経験あり(497名)	261	236
経験なし(628名)	290	338

$\chi^2 = 4.458$   
(両側検定)  $P = 0.03576$  有意水準5%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

意欲的+肯定的 vs. 消極的についての分析では、へき地勤務のある医師の方が「意欲的+肯定的」な医師が多かった。

(6') 交絡因子としてのE大学へき地勤務の経験の有無別 [%]

へき地勤務	出身大学	1. 解決 しなくとも 赴任したい (意欲的)	2. 積極 的に赴任 したいと 思う	3. 上記 以外の課 題が解決 したら、 良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あま り赴任し たくない	5. 絶対 に赴任し たくない	4+5. (消極的)	6. わ から ない	無回 答
経験あり	E大学(93名)	11.8	11.8	32.3	55.9	25.8	5.4	31.2	12.9	0.0
	他大(436名)	4.1	8.3	34.2	46.6	34.4	10.8	45.2	7.6	0.7
	不明(19名)	10.5	0.0	21.1	31.6	26.3	26.3	52.6	15.8	0.0
	計(548名)	5.7	8.6	33.4	47.6	32.7	10.4	43.1	8.8	0.5
経験なし	E大学(11名)	27.3	54.5	9.1	90.9	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
	他大(638名)	3.6	8.5	30.3	42.3	37.5	13.0	50.5	6.3	0.9
	不明(28名)	0.0	0.0	35.7	35.7	42.9	10.7	53.6	3.6	7.1
	計(677名)	3.8	8.9	30.1	42.8	37.2	12.7	49.9	6.1	1.2
無回答	E大学(2名)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	他大(7名)	14.3	0.0	28.6	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	28.6
	不明(6名)	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3
	計(15名)	6.7	0.0	26.7	33.3	6.7	6.7	13.3	0.0	53.3
総計	(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く)

へき地勤務	出身大学	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	(意欲的) / [(意欲的)+(それ以外)](%)
経験あり	E大学卒業生(93名)	11	70	13.6
	他大学卒業生(436名)	18	382	4.5
	不明(19名)	2	14	12.5
	計(548名)	31	466	6.2
経験なし	E大学卒業生(11名)	3	8	27.3
	他大学卒業生(638名)	23	569	3.9
	不明(28名)	0	25	0.0
	計(677名)	26	602	4.1

他大学卒業生	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
経験あり(436名)	18	382
経験なし(638名)	23	569

$$\chi^2 = 0.228$$

(両側検定) P = 0.08111 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)] ここま

E大学卒業生	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
経験あり(93名)	11	70
経験なし(11名)	3	8

$$\chi^2 = 1.407$$

(両側検定) P = 0.36353 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

へき地勤務経験あり	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
E大卒業生(93名)	11	70
他大卒業生(436名)	18	382

$\chi^2 = 9.803$

(両側検定)  $P = 0.00413$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

へき地勤務経験なし	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
E大卒業生(11名)	3	8
他大卒業生(638名)	23	569

$\chi^2 = 14.31$

(両側検定)  $P = 0.00935$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

E大学、それ以外の大学ともに、同一群内では、へき地勤務経験の有無で差は認められなかった。  
勤務経験の有無の群内では、あり・なしともにE大学と他大学との間に有意な差が認められた。

b) 2 × 2表での分析[意欲的+肯定的]

へき地勤務	出身大学	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)](%)
経験あり	E大学卒業生(93名)	52	29	64.2
	他大学卒業生(436名)	203	197	50.8
	不明(19名)	6	10	37.5
	計(548名)	261	236	52.5
経験なし	E大学卒業生(11名)	10	1	90.9
	他大学卒業生(638名)	270	322	45.6
	不明(28名)	10	15	40.0
	計(677名)	290	338	46.2

他大学卒業生	(意欲的+肯定的)	消極的
経験あり(436名)	203	197
経験なし(638名)	270	322

$\chi^2 = 2.530$

(両側検定)  $P = 0.12004$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

E大学卒業生	(意欲的+肯定的)	消極的
経験あり(93名)	52	29
経験なし(11名)	10	1

$\chi^2 = 3.144$

(両側検定)  $P = 0.09525$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

へき地勤務経験あり	(意欲的+肯定的)	消極的
E大学(93名)	52	29
E大学以外(436名)	203	197

$\chi^2 = 4.890$

(両側検定)  $P = 0.02844$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

へき地勤務経験なし	(意欲的+肯定的)	消極的
E大学(11名)	10	1
E大学以外(638名)	270	322

$\chi^2 = 8.910$

(両側検定)  $P = 0.00371$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

E大学、それ以外の大学ともに、同一群内では、へき地勤務経験の有無で差は認められなかった。  
勤務経験の有無の群内では、あり・なしともにE大学と他大学との間に有意な差が認められた。

(7) 初期臨床研修の方式別 [%]

《初期臨床研修の方式》	1. 解決 しなくとも 赴任したい (意欲的)	2. 積極 的に赴任 したいと 思う	3. 上記 以外の課 題が解決 したら、 良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あま り赴任し たくない	5. 絶対 に赴任し たくない	4+5. (消極的)	6. わ から ない	無回 答
総合診療(478名)	8.4	11.7	33.7	53.8	31.0	7.5	38.5	6.7	1.0
内科ストレート(156名)	1.9	7.1	26.9	35.9	38.5	16.0	54.5	8.3	1.3
外科ストレート(110名)	0.9	8.2	36.4	45.5	36.4	11.8	48.2	5.5	0.9
他科ストレート(224名)	3.1	8.0	31.3	42.4	32.1	17.0	49.1	7.1	1.3
その他(84名)	3.6	7.1	32.1	42.9	35.7	13.1	48.8	7.1	1.2
受けていない(143名)	0.7	4.2	28.0	32.9	45.5	9.8	55.2	9.8	2.1
無回答(45名)	6.7	2.2	24.4	33.3	37.8	15.6	53.3	4.4	8.9
全体(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

総合診療方式で研修した医師は、1. (意欲的)な医師の割合および(意欲的+肯定的)な医師の割合ともに高かった。

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く)

《初期臨床研修の方式》	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	(意欲的)／ [(意欲的)+(それ以外)](%)
総合診療(441名)	40	401	9.1
内科ストレート(141名)	3	138	2.1
外科ストレート(103名)	1	102	1.0
他科ストレート(205名)	7	198	3.4
ストレート全体(449名)	11	438	2.4
その他(77名)	3	74	3.9
受けていない(126名)	1	125	0.8
無回答(33名)	3	36	7.7
全体(1132名)	58	1074	5.1

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
内科ストレート(141名)	3	138

$\chi^2 = 7.526$   
(両側検定)  $P = 0.00868$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
外科ストレート(103名)	1	102

$\chi^2 = 7.860$   
(両側検定)  $P = 0.00585$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
他科ストレート(205名)	7	198

$\chi^2 = 6.635$   
(両側検定)  $P = 0.01370$  有意水準5%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]



	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
その他(77名)	3	74

$\chi^2 = 2.306$   
(両側検定)  $P = 0.17752$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
受けていない(126名)	1	125

$\chi^2 = 10.01$   
(両側検定)  $P = 0.00137$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
ストレート全体(449名)	11	438

$\chi^2 = 18.05$   
(両側検定)  $P = 0.00002$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
内科ストレート(141名)	3	138
外科ストレート(103名)	1	102

$\chi^2 = 0.494$   
(両側検定)  $P = 0.64016$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
内科ストレート(141名)	3	138
他科ストレート(205名)	7	198

$\chi^2 = 0.493$   
(両側検定)  $P = 0.53686$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
内科ストレート(141名)	3	138
その他(77名)	3	74

$\chi^2 = 0.582$   
(両側検定)  $P = 0.66808$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
内科ストレート(141名)	3	138
受けていない(126名)	1	125

$\chi^2 = 0.802$   
(両側検定)  $P = 0.62456$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
外科ストレート(103名)	1	102
他科ストレート(205名)	7	198

$\chi^2 = 1.618$   
(両側検定)  $P = 0.27599$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
外科ストレート(103名)	1	102
その他(77名)	3	74

$\chi^2 = 1.735$   
(両側検定)  $P = 0.31466$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
外科ストレート(103名)	1	102
受けていない(126名)	1	125

$\chi^2 = 0.0206$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
他科ストレート(205名)	7	198
その他(77名)	3	74

$\chi^2 = 0.037$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
他科ストレート(205名)	7	198
受けていない(126名)	1	125

$$\chi^2 = 2.273$$

(両側検定) P = 0.16208 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
その他(77名)	3	74
受けていない(126名)	1	125

$$\chi^2 = 2.382$$

(両側検定) P = 0.29962 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

総合診療 vs. 内科ストレート、総合診療 vs. 外科ストレート、総合診療 vs. 他科ストレート、総合診療 vs. 全ストレート、総合診療 vs. 受けていない、の間で有意差が認められた。

b) 2 × 2 表での分析[意欲的+肯定的]

《初期臨床研修の方式》	(意欲+肯定) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的)／ [(.意欲的+肯定的)+(消極的)](%)
総合診療(441名)	257	184	58.3
内科ストレート(141名)	56	85	39.7
外科ストレート(103名)	50	53	48.5
他科ストレート(205名)	95	110	46.3
ストレート全体(449名)	201	248	44.8
その他(77名)	36	41	46.8
受けていない(126名)	47	79	37.3
無回答(33名)	15	24	38.5
全体(1132名)	556	576	49.1

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
内科ストレート(141名)	56	85

$$\chi^2 = 14.81$$

(両側検定) P = 0.00015 有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
外科ストレート(103名)	50	53

$$\chi^2 = 3.217$$

(両側検定) P = 0.07811 有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
他科ストレート(205名)	95	110

$$\chi^2 = 8.039$$

(両側検定) P = 0.00510 有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
その他(77名)	36	41

$$\chi^2 = 3.543$$

(両側検定) P = 0.06278 有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
受けていない(126名)	47	79

$$\chi^2 = 17.34$$

(両側検定) P = 0.00003 有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
ストレート全体(449名)	201	248

$$\chi^2 = 16.26$$

(両側検定) P = 0.00006 有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
内科ストレート(141名)	56	85
外科ストレート(103名)	50	53

$$\chi^2 = 1.888$$

(両側検定) P = 0.19181 有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
内科ストレート(141名)	56	85
他科ストレート(205名)	95	110

$$\chi^2 = 1.491$$

(両側検定) P = 0.22744 有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
内科ストレート(141名)	56	85
その他(77名)	36	41

$\chi^2 = 1.011$   
(両側検定)  $P = 0.31985$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
内科ストレート(141名)	56	85
受けていない(126名)	47	79

$\chi^2 = 0.163$   
(両側検定)  $P = 0.70711$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
外科ストレート(103名)	50	53
他科ストレート(205名)	95	110

$\chi^2 = 0.133$   
(両側検定)  $P = 0.71857$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
外科ストレート(103名)	50	53
その他(77名)	36	41

$\chi^2 = 0.056$   
(両側検定)  $P = 0.88044$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
外科ストレート(103名)	50	53
受けていない(126名)	47	79

$\chi^2 = 2.934$   
(両側検定)  $P = 0.10673$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
他科ストレート(205名)	95	110
その他(77名)	36	41

$\chi^2 = 0.004$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
他科ストレート(205名)	95	110
受けていない(126名)	47	79

$\chi^2 = 2.603$   
(両側検定)  $P = 0.11105$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
その他(77名)	36	41
受けていない(126名)	47	79

$\chi^2 = 1.767$   
(両側検定)  $P = 0.18957$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

総合診療 vs. 内科ストレート、総合診療 vs. 他科ストレート、総合診療 vs. 受けていない、  
総合診療 vs. 全ストレートで有意差あり。  
総合診療 vs. 外科ストレートでは有意差が認められなかった。

(8) 総合診療に対する指向別 [%]

《総合診療に対する指向》	1. 解決しなくとも赴任したい (意欲的)	2. 積極的に赴任したいと思う	3. 上記以外の課題が解決したら、良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あまり赴任したくない	5. 絶対に赴任したくない	4+5. (消極的)	6. わからない	無回答
1) 総合診療に対する指向あり(117名)	12.0	26.5	35.9	74.4	14.5	0.9	15.4	9.4	0.9
2) 総合診療に理解のある専門医(710名)	2.7	4.4	28.7	35.8	42.3	14.5	56.8	6.6	0.8
3) 将来の総合診療に含み(280名)	6.4	13.2	39.6	59.3	26.8	7.1	33.9	6.4	0.4
4) 総合診療に賛同できない(21名)	4.8	0.0	33.3	38.1	42.9	19.0	61.9	0.0	0.0
5) 総合診療の概念が理解できない(31名)	3.2	6.5	38.7	48.4	12.9	9.7	22.6	25.8	3.2
6) その他(32名)	6.3	6.3	25.0	37.5	28.1	21.9	50.0	6.3	6.3
無回答(49名)	6.1	8.2	14.3	28.6	36.7	12.2	49.0	6.1	16.3
全体(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

総合診療に対する指向を持つ医師は、1. (意欲的)な医師の割合および(意欲的+肯定的)な医師の割合ともに高かった。つづいて、そのうち総合診療をやってみたいとする医師の割合が高かった。

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く)

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	1. (意欲的)	それ以外 (2-5)	(意欲的) / [(意欲的)+(それ以外)](%)
1) 総合診療に対する指向あり(105名)	14	91	13.3
2) 総合診療に理解のある専門医(657名)	19	638	2.9
3) 将来の総合診療に含み(261名)	18	243	6.9
4) 総合診療に賛同できない(21名)	1	20	4.8
5) 総合診療の概念が理解できない(22名)	1	21	4.5
6) その他(28名)	2	26	7.1
無回答(38名)	3	35	7.9
全体(1132名)	58	1074	5.1

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
2) 専門医を指向(657名)	19	638

$\chi^2 = 23.82$   
 (両側検定)  $P = 0.00003$  有意水準1%で有意  
 [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
3) 将来に含み(261名)	18	243

$\chi^2 = 3.888$   
 (両側検定)  $P = 0.06423$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
4) 賛同できない(21名)	1	20

$\chi^2 = 1.225$

(両側検定) P = 0.46280 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
5) 理解できない(22名)	1	21

$\chi^2 = 1.349$

(両側検定) P = 0.30980 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
2) 専門医を指向(657名)	19	638
3) 将来に含み(261名)	18	243

$\chi^2 = 7.745$

(両側検定) P = 0.00842 有意水準1%で有意

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
2) 専門医を指向(657名)	19	638
4) 賛同できない(21名)	1	20

$\chi^2 = 0.249$

(両側検定) P = 1.00000 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
2) 専門医を指向(657名)	19	638
5) 理解できない(22名)	1	21

$\chi^2 = 0.204$

(両側検定) P = 1.00000 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1)-3) 賛同する(1023名)	51	972
4)-5) 賛同・理解できない(43名)	2	41

$\chi^2 = 0.010$

(両側検定) P = 1.00000 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
2)-5) 指向以外(961名)	18	243

$\chi^2 = 17.24$

(両側検定) P = 0.00031 有意水準1%で有意

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1)+3) 指向あり+将来に含み(366名)	32	334
2)+4)+5) 専門医指向、賛同・理解できない(700名)	21	679

$\chi^2 = 16.77$

(両側検定) P = 0.00007 有意水準1%で有意

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

総合診療を指向する診療を行いたいと考えている医師は、「専門医指向の医師」と「それ以外の医師」にくらべて、へき地医療に意欲的であることが判明した。

そのうち総合診療を行いたいと考えている医師は、「専門医指向の医師」にくらべて、へき地医療に意欲的であった。

現在または将来に、総合診療を指向する診療を行いたいと考えている医師は「専門医指向の医師」および「賛同できない」「理解できない」医師にくらべて、へき地医療に意欲的であった。

b) 2 × 2 表での分析[意欲的+肯定的]

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)] (%)
1) 総合診療に対する指向あり(105名)	87	18	82.9
2) 総合診療に理解のある専門医(657名)	254	403	38.7
3) 将来の総合診療に含み(261名)	166	95	63.6
4) 総合診療に賛同できない(21名)	8	13	38.1
5) 総合診療の概念が理解できない(22名)	15	7	68.2
6) その他(28名)	12	16	42.9
無回答(38名)	14	24	36.8
全体(1132名)	556	576	49.1

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
2) 専門医を指向(657名)	254	403

$\chi^2 = 71.52$   
(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
3) 将来に含み(261名)	166	95

$\chi^2 = 13.01$   
(両側検定)  $P = 0.00042$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
4) 賛同できない(21名)	8	13

$\chi^2 = 18.90$   
(両側検定)  $P = 0.00007$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
5) 理解できない(22名)	15	7

$\chi^2 = 2.478$   
(両側検定)  $P = 0.14102$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(657名)	254	403
3) 将来に含み(261名)	166	95

$\chi^2 = 46.82$   
(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(657名)	254	403
4) 賛同できない(21名)	8	13

$\chi^2 = 0.002$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(657名)	254	403
5) 理解できない(22名)	15	7

$\chi^2 = 7.755$   
(両側検定)  $P = 0.00714$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1)-3) 賛同する(1023名)	507	516
4)-5) 賛同・理解できない(43名)	23	20

$\chi^2 = 0.255$   
(両側検定)  $P = 0.64323$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
2)-5) 指向以外(961名)	443	518

$$\chi^2 = 51.16$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
指向あり+将来に含み [1+3] (366名)	253	113
2)+4)+5) 専門医指向、賛 同・理解できない(700 名)	277	423

$$\chi^2 = 83.97$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

総合診療を指向する診療を行いたいと考えている医師は、「専門医指向の医師」、「総合診療指向以外の医師」、「賛同できない医師」にくらべて、へき地医療に意欲的ないし肯定的に考える割合が高かった。

そのうち総合診療を行いたいと考えている医師は、「専門医指向の医師」にくらべて、へき地医療に意欲的ないし肯定的であった。

総合診療の概念が「理解できない」とする医師は、「専門医指向の医師」にくらべて、へき地医療に意欲的ないし肯定的であった。

「理解できない」とする医師には、総合診療の概念に飽き足らないへき地指向の医師が含まれているのかも知れない。

現在または将来に、総合診療を指向する診療を行いたいと考えている医師は「専門医指向の医師」および「賛同できない」「理解できない」医師にくらべて、へき地医療に意欲的ないし肯定的であった。



(8') 交絡因子としてのE大学 総合診療に対する指向別 [%]

総合診療 に対する 指向	出身大学	1. 解決 しなくとも 赴任したい (意欲的)	2. 積極 的に赴任 したいと 思う	3. 上記 以外の課 題が解決 したら、 良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あ まり赴 任した くない	5. 絶 対に赴 任した くない	4+5. (消極的)	6. わ から ない	無回 答
1) 総合診 療に対す る指向あ り	E大学(21名)	19.0	28.6	28.6	76.2	9.5	0.0	9.5	14.3	0.0
	E大学以外(89名)	10.1	28.1	36.0	74.2	15.7	1.1	16.9	7.9	1.1
	無回答(7名)	14.3	0.0	57.1	71.4	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
	計(117名)	12.0	26.5	35.9	74.4	14.5	0.9	15.4	9.4	0.9
2) 総合診 療に理解 のある専 門医	E大学(45名)	4.4	8.9	28.9	42.2	33.3	6.7	40.0	17.8	0.0
	E大学以外(643名)	2.6	4.2	28.9	35.8	42.8	14.8	57.5	5.9	0.8
	無回答(22名)	0.0	0.0	22.7	22.7	45.5	22.7	68.2	4.5	4.5
	計(710名)	2.7	4.4	28.7	35.8	42.3	14.5	56.8	6.6	0.8
3) 将来の 総合診療 に含み	E大学(30名)	16.7	20.0	33.3	70.0	23.3	3.3	26.7	3.3	0.0
	E大学以外(243名)	4.9	12.8	40.3	58.0	27.2	7.8	35.0	6.6	0.4
	無回答(7名)	14.3	0.0	42.9	57.1	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0
	計(280名)	6.4	13.2	39.6	59.3	26.8	7.1	33.9	6.4	0.4
4) 賛同で きない	E大学以外(21名)	4.8	0.0	33.3	38.1	42.9	19.0	61.9	0.0	0.0
	計(21名)	4.8	0.0	33.3	38.1	42.9	19.0	61.9	0.0	0.0
5) 概念が 理解でき ない	E大学(2名)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	E大学以外(24名)	0.0	8.3	41.7	50.0	12.5	4.2	16.7	29.2	4.2
	無回答(5名)	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	計(31名)	3.2	6.5	38.7	48.4	12.9	9.7	22.6	25.8	3.2
6) その他	E大学(6名)	33.3	0.0	50.0	83.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	E大学以外(24名)	0.0	8.3	20.8	29.2	33.3	25.0	58.3	8.3	4.2
	無回答(2名)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	計(32名)	6.3	6.3	25.0	37.5	28.1	21.9	50.0	6.3	6.3
無回答	E大学(2名)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	E大学以外(37名)	8.1	8.1	16.2	32.4	40.5	13.5	54.1	8.1	5.4
	無回答(10名)	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	10.0	40.0	0.0	50.0
	計(49名)	6.1	8.2	14.3	28.6	36.7	12.2	49.0	6.1	16.3
全体	(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く) E大学以外

《総合診療に対する指向》\《赴任の意思》	1. (意欲的)	それ以外 (2-5)	(意欲的)／ [(.意欲的)+(それ以外)](%)
1) 総合診療に対する指向あり(81名)	9	72	11.1
2) 総合診療に理解のある専門医(600名)	17	583	2.8
3) 将来の総合診療に含み(226名)	12	214	5.3
4) 総合診療に賛同できない(21名)	1	20	4.8
5) 総合診療の概念が理解できない(16名)	0	16	0.0
6) その他(21名)	0	21	0.0
無回答(32名)	3	29	9.4
全体(997名)	42	955	4.2

上記について、全体で有意差が認められた項目について検討する。

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(81名)	9	72
2) 専門医を指向(600名)	17	583

$$\chi^2 = 13.31$$

(両側検定) P = 0.00176 有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
2) 専門医を指向(600名)	17	583
3) 将来に含み(226名)	12	214

$$\chi^2 = 2.972$$

(両側検定) P = 0.09211 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(81名)	9	72
2)-5) 指向以外(863名)	30	833

$$\chi^2 = 10.90$$

(両側検定) P = 0.00405 有意水準1%で有意

[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1)+3) 指向あり+将来に含み(307名)	21	286
2)+4)+5) 専門医指向、賛同・理解できない(637名)	18	619

$$\chi^2 = 8.430$$

(両側検定) P = 0.00504 有意水準1%で有意

[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

E大学出身以外の医師においては、総合診療指向あり vs. 専門医指向、総合診療指向あり vs. 総合診療指向以外(2-5)、「総合診療指向あり+将来の総合診療に含み」vs. 「専門医指向+賛同・理解できない」の間で、へき地医療に意欲的な医師の割合に有意差が認められた。

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く) E大学

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	1. (意欲的)	それ以外 (2-5)	(意欲的) / [(意欲的)+(それ以外)](%)
1) 総合診療に対する指向あり(18名)	4	14	22.2
2) 総合診療に理解のある専門医(37名)	2	35	5.4
3) 将来の総合診療に含み(29名)	5	24	17.2
4) 総合診療に賛同できない(0名)			
5) 総合診療の概念が理解できない(2名)	1	1	50.0
6) その他(6名)	2	4	33.3
無回答(1名)	0	1	0.0
全体(93名)	14	79	15.1

上記について、全体で有意差が認められた項目について検討する。

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 3.524$ (両側検定) P = 0.08188 有意差なし [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
1) 指向あり(18名)	4	14	
2) 専門医を指向(37名)	2	35	

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 2.402$ (両側検定) P = 0.22592 有意差なし [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
2) 専門医を指向(37名)	2	35	
3) 将来に含み(29名)	5	24	

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 1.296$ (両側検定) P = 0.44607 有意差なし [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
1) 指向あり(18名)	4	14	
2)-5) 指向以外(68名)	8	60	

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 2.330$ (両側検定) P = 0.21060 有意差なし [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
1)+3) 指向あり+将来に含み(47名)	9	38	
2)+4)+5) 専門医指向、賛同・理解できない(39名)	3	36	

E大学卒業生に限ると、有意差は認められなかった。例数が少ない影響もあると思われる。

b) 2×2表での分析〔(意欲的+肯定的)〕

E大学以外

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)] (%)
1) 総合診療に対する指向あり(81名)	66	15	81.5
2) 総合診療に理解のある専門医(600名)	230	370	38.3
3) 将来の総合診療に含み(226名)	141	85	62.4
4) 総合診療に賛同できない(21名)	8	13	38.1
5) 総合診療の概念が理解できない(16名)	12	4	75.0
6) その他(21名)	7	14	33.3
無回答(32名)	12	20	37.5
全体(997名)	476	521	47.7

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(81名)	66	15
2) 専門医を指向(600名)	230	370

$$\chi^2 = 54.07$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(81名)	66	15
3) 将来に含み(226名)	141	85

$$\chi^2 = 9.896$$

(両側検定)  $P = 0.00222$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(81名)	66	15
4) 賛同できない(21名)	8	13

$$\chi^2 = 15.76$$

(両側検定)  $P = 0.00020$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(600名)	230	370
3) 将来に含み(226名)	141	85

$$\chi^2 = 38.40$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(600名)	230	370
5) 理解できない(16名)	12	4

$$\chi^2 = 8.784$$

(両側検定)  $P = 0.00400$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(81名)	66	15
2)-5) 指向以外(863名)	391	472

$$\chi^2 = 38.80$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
指向あり+将来に含み [1+3](307名)	207	100
2)+4)+5) 専門医指向、賛 同・理解できない(637 名)	250	387

$$\chi^2 = 65.87$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

E大学以外については「意欲的+肯定的」についても、「意欲的」と同様の結果であった。